

気候情報

2022年2月の日本の天候

- 東・西日本の気温は低く、東・西日本日本海側の降雪量は多かった
- 西日本の降水量はかなり少なく、東日本太平洋側と西日本の日照時間は多かった
- 沖縄・奄美の降水量はかなり多く、日照時間は少なかった

2月の天気概況

シベリア高気圧の張り出しが強い傾向が続き、千島近海からアリューシャン近海にかけての領域で低気圧が発達して、日本付近は冬型の気圧配置が強かった。このため、東・西日本日本海側の降雪量は多かった。中旬の後半に、低気圧が日本海をゆっくり進んだ際も強い冬型の気圧配置が続いた東・西日本では、強い寒気の影響を受けて月平均気温は低かった。低気圧の影響を受けにくかったため、西日本の月降水量はかなり少なく、東日本太平洋側と西日本の月間日照時間は多かった。沖縄・奄美では、中旬にかけては、大陸の高気圧の縁となって前線がかなりやすく、低気圧の影響も受けやすかったため、月降水量はかなり多く、月間日照時間は少なかった。

上旬：北日本を中心に冬型の気圧配置が強まりやすかったが、東シベリアで気温が高かったため、旬平均気温は北日本で平年並で、東・西日本で低かった。旬降水量は、冬型が続いて湿った空気の影響を受けにくかった北日本太平洋側と、低気圧の影響を受けにくかった西日本日本海側でかなり少なかった。

旬平均気温は、東・西日本で低かった。北日本と沖縄・奄美では平年並だった。

旬降水量は、北日本太平洋側と西日本日本海側でかなり少なく、西日本太平洋側で少なかった。一方、東日本日本海側と沖縄・奄美で多かった。北日本日本海側と東日本太平洋側では平年並だった。

旬間日照時間は、北日本太平洋側で多かった。北・西日本日本海側と東日本では平年並だった。

中旬：期間の前半を中心に、日本の南をたびたび通過した低気圧や前線の影響で、沖縄・奄美では旬降水量がかなり多かった。期間の後半は、上空の寒気を伴った低気圧が日本海北部をゆっくり進んだ後、北日本付近を高気圧が通過して冬型が解消し、晴れた期間があったため、北日本日本海側の旬間日照時間はかなり多かった。

旬平均気温は、西日本で低かった。北・東日本と沖縄・奄美では平年並だった。

旬降水量は、沖縄・奄美でかなり多く、北日本太平洋側と東日本で多かった。北日本日本海側と西日本では平年並だった。

旬間日照時間は、北日本日本海側でかなり多かった。一方、北日本太平洋側と沖縄・奄美で少なかった。東・西日本では平年並だった。

下旬：北日本では冬型の気圧配置となりやすく、27日には津軽海峡付近を低気圧が通過したため、旬間日照時間は北日本日本海側でかなり少なかった。期間の中頃にかけて、華中付近で高気圧が強まり、東・西日本は太平洋側を中心に大陸からの高気圧に緩やかに覆われたため、東・西日本太平洋側ではおおむね晴れた。旬平均気温は、東・西日本と沖縄・奄美で低かった。北日本では平年並だった。

旬降水量は、北日本日本海側で多かった。一方、東日本太平洋側と西日本でかなり少なかった。北日本太平洋側と東日本日本海側、沖縄・奄美では平年並だった。

旬間日照時間は、北日本日本海側でかなり少なく、北日本太平洋側と東日本日本海側で少なかった。一方、東日本太平洋側と西日本でかなり多かった。沖縄・奄美では平年並だった。

2月の気候統計

月平均気温：東・西日本で低かった。北日本と沖縄・奄美では平年並だった。

月降水量：西日本でかなり少なかった。一方、沖縄・奄美でかなり多く、東日本日本海側で多かった。北日本と東日本太平洋側では平年並だった。

月間日照時間：東日本日本海側と沖縄・奄美で少なかった。一方、東日本太平洋側と西日本で多かった。北日本では平年並だった。

(気象庁大気海洋部観測整備計画課)

2月の記録 (1位更新のみ)

- ・月降水量少ない方から (mm)
福江 (長崎県) 14.0 など 9 地点

2022年2月の平年差 (比) 図

